

香川東部森林組合



さぬき市多和 大窪寺のイチヨウ

ごあいさつ



香川東部森林組合
代表理事組合長
木村 薫

厳しい残暑が続いていますが、組合員の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、組合運営に何かとご理解を頂き、ご協力ご指導を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。

今回の役員改選におきまして佐藤敬一郎組合長が勇退され、その後任に私が就任することになりました。大変光栄に存じますと共に、その責務の重大さに身の引き締まる思いでいっぱいでございます。もとより微力ではございますが、誠心誠意組合の為に全力を尽くしてまいる覚悟でございますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

さて、平成15年度の組合事業につきましては県をはじめ関係機関のご指導のもと、総事業収益で4億9,378万円の実績を上げることができ、3,278万円の当期剰余金を出すことができました。これもひとえに組合員の皆様のご協力のお陰と心からお礼申し上げます。

平成16年度の事業につきましては、造林、治山事業等をはじめ保全事業を中心に総事業収益4億1,800万円を計画し、目標を上回るよう努力をしております。又、本年度は組合の新事務所を寒川町菘神地区に建設しております。用地造成工事を8月に、建築工事を11月着工予定で年度末の完成に向けて取り組んでまいりますので、地元の方々をはじめ組合員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

現在、日本経済においては少しずつ上向いていると言われてはいますが、組合を取り巻く経済情勢は大変厳しいものがあり、今後一層難しくなってくるものと思います。特に木材需要は減退し、合わせて木材価格の低迷と大変厳しい状況となっております。そんな中ですが、緑、森林は地球温暖化防止をはじめ国土保全、水資源のかん養等、森林の有する多面的機能は期待されております。森林、林業に携わるものとして森林整備、保全の推進に身を引き締めて取り組まなければならないと思っております。

豊かな森造り、魅力ある組合経営をめざして役職員、整備員一同頑張っております。その為には、もう一度、原点に立ちかえり森を育てると同様に、長期的な視野で運営に取り組んでまいりますので、今後とも組合員の皆様の暖かいご理解とご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成16年度通常総代会開催

開催日時 平成16年5月29日(土) PM1:30～

場 所 ツインパルながお

総代総数200名(出席総代数145人、代理出席0人、委任状3人、書面議決書25人、合計173人、出席率86.5%)
議長 大川地区総代 松下 和規氏

総代会提出議案

第1号議案

平成15年度事業報告書、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案承認について

第2号議案

平成16年度事業計画設定について

第3号議案

平成16年度事業資金借入最高限度額の決定について

第4号議案

一組合員に対する貸付金の最高限度額及び貸付金利率の決定について

第5号議案

債務保証の最高限度額の決定について

第6号議案

余裕金の預入先金融機関の決定について

第7号議案

造林補助金取扱手数料及び受託手数料の決定について

第8号議案

役員報酬額承認について

第9号議案

役員退任慰労金の支給について

第10号議案

香川東部森林組合定款の一部変更について

第11号議案

役員の選任について

平成16年度通常総代会提出議案はすべて原案のとおり承認されました。

改選で新役員決まる

《新役員の名簿》(敬称略)

平成16年6月8日現在

氏名	役職	地区名	氏名	役職	地区名
木村 薫	代表理事組合長	白鳥地区	熊野 正則	理事	山田地区
有馬 督治	副組合長	大川地区	立岩 光子	理事	山田地区
高木 亙	第一理事	牟礼地区	山田 広義	理事	山田地区
廣瀬 辰夫	第二理事	寒川地区	岩田 直幸	理事	引田地区
近藤 博	理事	大内地区	麓 虎之	理事	引田地区
青木 俊彦	理事	志度地区	三谷 正俊	理事	引田地区
佐藤 敬一郎	理事	大川地区	佐藤 雪吉	理事	白鳥地区
田中 政晴	理事	大川地区	長町 益年	理事	白鳥地区
白井 貞男	理事	長尾地区	三好 誠太	理事	白鳥地区
永山 正敏	理事	長尾地区	古川 武	代表監事	引田地区
真部 善美	理事	長尾地区	大隅 政義	監事	大川地区
石原 收	理事	三木地区	枳木 成彬	監事	三木地区
平井 時彦	理事	三木地区			

《退任役員》(敬称略)

氏名	役職	地区名	氏名	役職	地区名
溝淵 速	理事	山田地区	峠 芳幸	理事	長尾地区
筒井 元	理事	三木地区	木村 富男	監事	白鳥地区
木村 堯	理事	長尾地区			

組合事務所建設に着手



このほど組合事務所建設用地の造成工事に着手しました。建設場所は、さぬき市寒川町蓑神で、高松大内線バイパスから門入ダムへ行く途中の道の西側(メガマート寒川店より南へ約800m)で造成費、事務所と倉庫の建物併せて総工事費約9千万円で、平成17年3月末の完成予定で進めています。

事業計画

用地	2,628㎡(約796坪)
事務所建物	約115坪
倉庫建物	約45坪

平成15年度決算状況

平成15年度 財産状況

(単位:円)

資産の部		
1	流動資産	460,325,005
2	有形固定資産	45,685,484
3	無形固定資産	74,984
4	外部出資金	25,535,000
5	その他資産	227,730,093
6	繰延資産	4,425,880
資産合計		763,776,446

(単位:円)

負債の部		
1	流動負債	162,505,635
2	固定負債	240,246,336
負債合計		402,751,971
資本の部		
1	出資金	187,918,000
2	剰余金	173,106,475
資本合計		361,024,475
負債及び資本合計		763,776,446

平成15年度 事業の収支

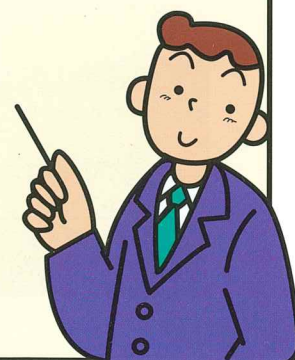
(単位:円)

事業区分	収入金額	支出金額	損益
1 指導部門	13,647,243	3,659,076	9,988,167
2 販売部門	2,310,565	2,154,005	156,560
3 購買部門	13,351,027	10,441,598	2,909,429
4 利用部門	455,451,769	240,910,058	214,541,711
5 金融部門	9,027,183	8,972,158	55,025
合計	493,787,787	266,136,895	227,650,892

平成15年度 損益計算書

(単位:円)

	事業総収益	493,787,787	
1	事業総費用	266,136,895	
	事業総利益		227,650,892
2	事業管理費	182,120,295	
	事業利益		45,530,597
3	事業外損益	5,753,361	
	経常利益		51,283,958
4	特別損益	-1,500,815	
	税引前当期純利益		49,783,143
5	法人税及び住民税		-17,000,000
6	当期剰余金		32,783,143



平成15年度 剰余金処分

(単位:円)

摘 要	内 訳	小 計	合 計
I 当期末処分剰余金			
	前期繰越金	3,815,373	
	当期剰余金	32,783,143	36,598,516
II 積立金取崩額			
III 剰余金処分量			
1 法定準備金	当期剰余金の1/5以上	7,000,000	
2 出資配当金	出資金の2%	3,758,360	
3 特別積立金		23,000,000	
	(1)事務所建設準備積立金	20,000,000	
	(2)損失補填積立金	3,000,000	33,758,360
IV 次期繰越剰余金			2,840,156

※次期繰越剰余金は教育情報資金である。



お知らせ

○組合員の方の住所、氏名など

次のような変更がありましたら組合へ届出をしてください。

- ・組合員の資格がなくなった時(所有山林が0.1ha以下になった場合など)
- ・組合員が死亡した時(相続人に名義変更などの手続き)
- ・組合員の住所・氏名の変更があった時

※定款により上記のことについては、組合員よりの届出が必要となっています。組合員名簿などの整理のため必ず組合へご連絡をお願いします。

○平成15年度も出資配当を行っています。

配当金の支払は、理事会の承認を得て、昨年と同様、引田、白鳥、大川地区の組合員には香川県農協及び百十四銀行の口座と郵便為替での方法で8月中旬に送金しています。大内、志度、寒川、長尾、高松、三木、牟礼地区の組合員の配当金は、昨年と同様組合で一時お預かりしています。

配当金の支払明細書を広報誌と一緒に送りますのでご確認をお願いいたします。

※何かご質問等がありましたら組合までご連絡ください。



林研グループの紹介



16年生になった実習林



樹恩ネットワークとの交流会(昼食の竹めしづくり)



会員複層林の林分

さぬき市林業研究会の活動のあらまし

昭和62年2月、大川町林業研究会として発足、当時会員は12名であった。この年設立記念として実習林0.1haを作り、下刈り、間伐、枝打ち等会員の林業技術の向上と研修の場として今も続けているが、これは林業研究会の活動を記録した林ともいえる。また、会則も五度一部改正され、会員もだんだん増えて30名に達した事もあった。人数が増えたので育林班・山楽班・レディース班と目的を異にする活動が出来る構成とした。平成14年度からは五町合併により、さぬき市林業研究会として新しく活動をすすめ、会員も大川、寒川、長尾地区に広がった。今後、山に関心のある海岸部の人や、市街区の人にも加入していただきたいと思っている。

ちなみに15年度の活動記録の主なものをあげると、みろくさくらまつりに山の手作り品の展示即売、総会、講習会、研修会(県外含む)等6回、中・四国研究発表コンクール、交流会、学習会3回などがある。会員の山での現地研修は毎年1回以上しているが、これは会員相互の刺激と励みとなっている。

さぬき市在住の方で山に関心のある方、ぜひ入会して共に林業活性化のために活動しませんか。

●連絡先

さぬき市大川町 会長 田中政晴(0879-43-5140)



現地研修会風景

名物組合員紹介コーナー

当森林組合の組合員さんの中には、様々な分野で秀でた活動をされている方が数多く居られます。このコーナーは、そんな素晴らしい活動をなさっている組合員さんを皆さんにご紹介するコーナーです。

第1回目の今回は、高松市多肥上町の東川政太郎さんをご紹介します。

東川さんは、大正6年生まれの87歳。昭和8年に家業の農林業に従事されて以来、コツコツと所有する山林への造林を行い、現在は、高松市、さぬき市、塩江町、綾上町、琴南町及び徳島県脇町にある約113haの所有林の大半を、価値の高い健全な森林に育て上げられています。



東川さんは、林業経営の目標を長伐期施業の優良材生産と定め、自ら率先して枝打ちや間伐等に取り組むなど、87歳の現在も現役バリバリでご活躍されています。また、平成6年度から現在まで香川県林業経営者協会の副会長として、実践で得た技術や成果を会員の林業経営者に広く指導・普及するなど、県下の林業経営者の模範的な存在でもあります。

そんな東川さんの地道な活動が認められ、平成9年に全国農林水産祭の林業経営部門で農林水産大臣賞を受賞されたほか、平成11年には林業振興で香川県知事表彰、平成14年には社団法人 国土緑化推進機構から、森林にかかわる様々な分野で活躍する人達を全国で100人認定する「森の名手・名人」に、香川県で唯一認定されるなど、正に本県林業の第一人者としてご活躍されているところであります。(なお、「森の名手・名人」は15年度以降も継続して認定されており、現在、東川さんのほかに本県からは、竹細工の名人として、さぬき市長尾の河内一男さんが認定されています。)

現在も東川さんは、後継者の息子さんと一緒に、元気に森林整備に取り組まれておりますが、最後に、東川さんが80歳の際に家訓として記された3箇条をここにご紹介します。

【家訓】

- 一、林業は親から子へ、子から孫へ代々継承し汗の努力により実る
- 二、造林は水資源の涵養と環境保全に貢献せる一大公益事業である
- 三、我が子孫は時代の変遷に左右されることなく誇りを以て此の偉業に精励すべきである



山の手入れをしませんか

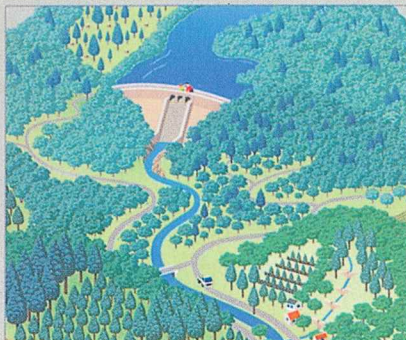
造林事業

すべての森林が3区分

区分1

水土保持林

良質で安全な水を安定して供給する水源かん養の働き、山崩れや土砂流出などの山地災害を防止する働きなど、安全で安心な市民生活を守る働きを重視する森林です。

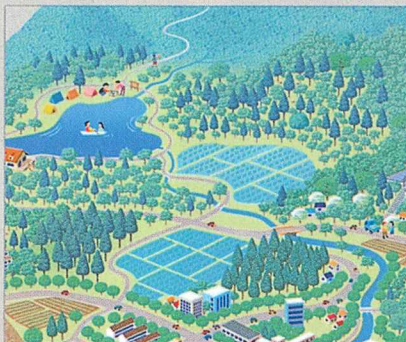


補助率(%)		区分	査定係数	実質補助率	事業主体
国	県				
30	20	緊急間伐協定	180	90	市町
		要間伐森林	180		
		その他	170		
30	10	緊急間伐協定	180	72	市町 森林組合等
		保安林等	170	68	
		森林施業計画	170		
		協定締結造林	120	48	
		普通造林	90	36	

区分2

森林と人との共生林

貴重な自然環境を保全したり、野生生物の棲息の場となる森林、森林レクリエーションなど森林とのふれあいの場となる森林、及び生活環境を守る働きを重視する森林です。



補助率(%)		区分	査定係数	実質補助率	事業主体
国	県				
50	20			70	市町

区分3

資源の循環利用林

安定して木材を供給する、木材資源としての役割を重視する森林です。主に木材生産を目的に植えられたスギやヒノキ、カラマツなどの人工林が区分されます。



補助率(%)		区分	査定係数	実質補助率	事業主体
国	県				
30	10	緊急間伐協定	180	72	市町 森林組合等
		保安林等	170	68	
		森林施業計画	170		
		協定締結造林	120	48	
		普通造林	90	36	

保全事業

休耕田の草刈から敷地内の枯木・大きくなりすぎた木・電線・電話線・CATV線に障害になっている木々等の枝切、伐採等の作業を行っています。

